

2021年度 第7回 三井のリハウス東京都U-12ブロックリーグ前期・後期第10ブロック大会要項

- 日程 令和2年4月11日～10月上旬(予備日は設けない)
- 会場 砂川中央グラウンド、府中少年サッカー場、国立多摩川G、他
- 大会方式
- 参加43チームを昨年度同リーグの開始時点の順位に基づき1部10チーム、2部10チーム、3部A12チーム、3部B11チームに振り分け総当たりリーグ戦を前後期2回行う。
 - 本大会前期の成績により同リーグ2021年度後期のカテゴリー編成を行うが、その入れ替え方式は次の通り。(都リーグの成績に影響されない)
△3部A及び、3部B各1位は後期2部へ自動昇格
△2部上位2チームは後期1部へ自動昇格
▼1部下位2チームは後期2部へ自動降格
▼2部下位2チームは後期3部へ自動降格
 - 本大会後期の成績により同リーグ2021年度前期のカテゴリー編成を行うが、2022年度からは4部リーグ制とする。
(東京都U-12リーグからの降格チームは1部1位より上位に位置付ける)
【順位付け】
1部1位→1部2位→1部3位→…→1部8位→2部1位→2部2位→1部9位→1部10位→2部3位→2部4位→…→2部8位→3部1位→3部2位→2部9位→2部10位→3部3位→…
(3部リーグの順位付けは後期リーグでの3部A、3部Bそれぞれでの①勝ち点、②得失点差、③総得点の多い順とする)
 - 尚、2019年度以降都少年連盟の競技方法変更に伴い、調整・変更する可能性がある。リーグ戦においては勝点制(勝ち=3、引き分け=1、負け=0)とするが同勝点の場合は①得失点差②総得点③当該チームの結果④大会中退場の少ない方⑤大会中警告の少ない方⑥コイントスの順にて順位付けをする。
- ※. リーグ幹事は別途相談させていただき、お願いする場合があります。(後期同リーグ残留の場合は年間を通しての幹事となり、昇降格のあった場合は、前期終了時に新たな幹事を選定する)
- 1部
2部
3部A
3部B
- 競技規則
- 下記2項から8項以外は、日本サッカー協会「2020/2021競技規則」による。
 - 8人制による競技とする。交代ゾーンを使用する「自由な交代」を採用する。
試合開始時には競技者は8人いなければならない。
 - 試合時間は、原則20-5-20分とするが大会の消化状況その他の事情により短縮する可能性がある。尚、給水タイムおよびクォーターブレイクの採否に関しては本部の判断とする。
 - ピッチの大きさは、縦68m×横50mを基本とする。できる限りこの大きさにすることが望ましいが、やむをえない場合は各会場の責任者に一任する。
 - 試合球は4号ボール(本部にて準備、空気圧0.8)使用。スパイクは固定式に限る。
 - 交替は、交替ゾーンを使用し、主審に通知することなく交替できる。但し、ゴールキーパーの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。
 - 試合毎にベンチに入ることができるチーム役員の数、最大5名までとし、全員がマスクを着用する。2名以上の指導者がベンチ入りすることを必須とし、1名までのメディカルスタッフを含むことができる。引率責任者は、参加するチームを掌握指導できる責任ある成人であり、メディカルスタッフ以外は最低1名は日本協会公認資格D級コーチ以上であることが必要となる。また、ベンチに入るチーム役員は、事前にコート本部に届け出なければならない。
有資格指導者は、指導者証をプリントし、青い紐のカードケースに入れて首から下げる。メディカルスタッフは黄色い紐のカードケースに「メディカルスタッフ」と書かれた黄色いカードを入れて首から下げる。
試合途中やむを得ない事情で指導者が2名未満となる場合は別の指導者を補充できるが、できない場合は放棄試合として、不戦敗扱いとする。
選手に関してはその試合にエントリーした選手だけが入る。エントリー選手もベンチ入りの際にはマスクを着用すること。アップの際はマスクを外してもよいが、声を出さないこと。
試合出場時に外したマスクは取り違えたり忘れたりしないよう管理すること。
なお、交替要員はユニフォーム姿のままベンチに座らないこと。
 - キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。
- 審判
- 主審1名、補助審1名の2人制でおこなう。
 - 派遣審判員制度による割り当てを行う。

注意事項

1. 悪天候による中止等は、当日の第1試合開始2時間30分前までに決定する。（ただし、現地集合後の順延決定もあり得る）
2. 会場準備は、本部役員が中心となり、第1試合のチームから各2名以上の協力により行う。遅くとも第1試合開始1時間30分前には集合すること。（特別の指示があった場合はそれに従うこと）ライン引きやゴール運搬等ができる者が対応するように。
3. 参加チームによる代表者ミーティングは行わないが、到着の証に代表者は本部到着連絡をする。（但し、真如苑芝生ひろばにおいては開始前のミーティングが義務付けられており、第一試合開始予定時刻の30分前に代表者は集合すること。）
4. 承認印のある登録兼メンバー表は必要事項を記載して各試合開始30分前までに1枚を本部に提出する事。（連続で試合を消化する場合は速やかに提出）
5. メンバーチェックは、メンバー表に記載されている選手について各試合開始10分前、本部に集合して行う。第1試合についてはベンチ前にておこなう。（ただし、新型コロナウイルス感染対策実施期間においてはベンチ前でのメンバーチェックを基本とする）
6. 第1試合のチームには、試合開始25分前から20分前まで5分間ピッチの使用を認める。但し、自治大学校、真如苑芝生ひろばは試合以外の練習をピッチで行えない。
7. ユニフォームについては、実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規程」および「通達事項（過去を含む）」および東京都中央大会の要項に準じる。
ユニフォームは色の異なる正副2着（正副で番号が揃っているもの）を用意すること。また、胸番は必ず付いていること。なお、正、副のユニフォームは同じ番号とし、大会における選手番号は当該大会期間中において、同じ番号で選手固有のものとする。
本部、及び審判部はユニフォームチェックを行わない。両チームがメンバーチェック前に協議し、「はっきりと解る（もっとも遠い色）」を自主的に判断して着用すること。
ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。なお、原則、大会におけるピフス着用は不可とする。
ゴールキーパーのショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同じでも良い。
ソックステープなど外部に着用するものの色は問わない。また、チーム内での統一も必要ない。
アンダーシャツ、アンダーショーツ及びタイツの色は問わないが、チーム内では同色のものを着用する。なお、ゴールキーパーはフィールドと異色で良いが統一すること。
8. 各会場の注意事項をしっかりと把握すること。応援は本部にて決められた場所にて行うこと。特に駐車制限台数、スペースを守り（路上駐車厳禁）、必ず各クラブ作成の「駐車票」を掲示すること。
9. 本大会にてベンチに入る選手以外で会場入りできるのは、10名までとする。（新型コロナウイルス感染対策が緩和された場合は、制限を解除する場合がある）
10. 会場入りの際には全員がマスクを着用し、来場する選手を表示したメンバー表および会場入りする全員（選手、指導者、関係者）の「健康チェックリスト」を本部に提示し、本部役員による検温を受け、選手以外は当日配布されるリストバンドを着用しなければならない。
（砂川中央グラウンドでは、100名と設定されている使用人数制限が解除されない場合、チームの来場総人数（選手+指導者+関係者）を20名程度に制限することになるので、事務局からの通知に従うこと）
11. 天然芝グラウンド使用時の飲料は水のみとする。ただし、「JFA熱中症対策ガイドライン」及び
12. 片付けは、最終試合の2~4チームが本部の指示に従い行うこと。

移籍について

1. 移籍はリーグ期間中でも認められる。
2. 移籍先での出場も認められる。